

令和2年度第2回アイランドシティはばたき公園管理・運営等アドバイザーミーティング — 議事要旨 —

日時： 令和3年3月24日（水） 13時00分～14時40分

会場： 博多港センタービル8F 局議室（Web形式）

参加者： [アドバイザー] 6名

- ・桑 江 朝比呂（港湾空港技術研究所 沿岸環境研究グループ長）
- ・岡 田 知也（国土交通省 国土技術政策総合研究所 海洋環境・危機管理研究室長）
- ・服 部 卓郎（NPO法人 ふくおか湿地保全研究会 理事長）
- ・林 博徳（九州大学大学院 工学研究院 環境社会部門 准教授）
- ・中 島 淳（福岡県 保健環境研究所 研究員）
- ・内田 泰三（九州産業大学 建築都市工学部 教授）

[事務局] 7名

- ・福岡市 港湾空港局 アイランドシティ事業部
　　白土 計画調整課長、 小山 基盤第2係長、 清水、 森
- ・一般財団法人 九州環境管理協会
　　宇野、 藤井、 宇佐美

議事次第

- (1) 令和2年度 第1回アドバイザーミーティングの意見と対応について（ふりかえり）
- (2) 順応的管理について
- (3) 湿地における生物移入に関するルールづくりについて
- (4) 今後について

主な意見

- ・湿地の水質については、富栄養化を改善させるために必要な流量が確保できていない課題があるため、水質改善を検討するための調査や検討を行う必要がある。また、流路の検討にあたっては自然に配慮した工法（グリーンインフラ等）を用いるようにする。
- ・底質のモニタリング調査手法については、現在の定性的な手法では底質の悪化の程度が不明確なため、定量的に評価できる手法を検討すると良い。
- ・はばたき公園は市民と共同で維持管理を実施するので、湿地における生物移入に関するルールについては、市民との協働が確立し、市民と議論できる段階になってから検討を深めると良い。
- ・市民見学会は応募者が多く、市民の関心が高いようなので、アドバイザーと一緒に参加して見学会の状況を把握する必要がある。